

[008]附属図書館研究開発室の概要 : 2003～2004(第8年次)

<https://doi.org/10.15017/16790>

出版情報 : 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2003-2004, pp. 1-31, 2004-10-01. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :



はじめに

近年の情報技術をめぐる環境の変化に伴い、大学図書館はより高度で効率的なサービス提供や業務運用を実現すべく、その対応を迫られています。加えて大学院重点化等に伴い、教育・研究活動の高度化、多様化、学際化の進展に対応し、利用者が必要とする学術情報を的確に提供するために、学術情報のサービス体制の再構築を図ることが求められています。

このような状況の変化に柔軟かつ的確に対応するためには、大学図書館が研究開発機能を持つことが必要であり、本学では、平成8年2月の評議会決定により、同年4月附属図書館に研究開発室を設置しました。大学図書館における研究開発機能の重要性は、『大学図書館基準』（大学基準協会＜昭和27年＞）でも指摘されているとおりですが、本学においては、毎年研究開発事項を指定し、附属図書館の教育・研究支援活動の改善、強化のために研究開発を推進しているところです。

平成12年度は発足5年目という節目にあたり、それまでの研究開発室の成果を評価し、今後の存続を検討していただくために、平成13年3月、評議員を対象にした業務成果報告会を開催しました。その結果、多くの評議員から高い評価をいただき、同年3月の評議会において、さらに5年間の存続が認められました。今年4月には、本学は国立大学法人として新たなスタートを切り、附属図書館は法人の中期目標・中期計画に沿って、より一層教育・研究支援や国際連携活動等に邁進することになりました。研究開発室の研究成果の一層の活用が期待されるところです。ここにこれまでの附属図書館研究開発室の活動に対する総長はじめ関係者の皆様のご理解とご支援に対しまして厚く御礼申し上げますとともに、研究開発室員の皆様のご努力に対しまして深く感謝申し上げます。

研究開発の成果は、毎年『附属図書館研究開発室の概要』として取りまとめ、刊行・公開してきたところですが、ここに平成15年度の成果を取りまとめて公にし、関係各位のご助言を仰ぐ次第です。

平成16年10月

九州大学附属図書館長

今 西 裕一郎

目 次

はじめに

I	研究開発室の設置	01
1	設置の目的	01
2	組織	01
3	名簿	01
II	Topics	02
	IC タグで実現する図書館自動化と新しいサービスの可能性 南 俊朗	02
III	平成15年度における研究開発	07
1	図書館の将来計画に関する調査研究	07
2	電子図書館システムの研究開発	08
3	ホームページ等、附属図書館広報活動における英文化に関する調査研究	12
4	図書館職員の専門性に関する調査研究	14
5	貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発	15
6	古書・文書データベース構築に関する調査研究	16
7	統合移転後の新図書館建設に関する調査研究	16
8	医学分館所蔵貴重古医書のデータベース化及び医史的、書誌学的な調査研究	17
9	IC タグによる図書館運用に関する調査研究	19
10	レファレンス事例検索システムに関する調査研究	20
IV	平成16年度における研究開発事項	21
V	沿革・会議日誌	23
VI	研究発表・関連講演会等	24
VII	調査・視察等	28
VIII	関連規則等	30